

日本広報学会  
2008 年度指定研究

行政コミュニケーション事例研究報告書

## 謝 辞

研究会は日本広報学会研究会運営委員会委員が責任単位となり、運営を実施いたしました。知見豊かな諸先生方のご協力ご教示により運営することができました。特に、上野征洋先生、濱田逸郎先生、また行政コミュニケーション研究の主査である河井孝仁先生(東海大学)、宮田穰先生(相模女子大学)、マスメディアの立場から大野伸氏(日本テレビ)には多くのご教示を頂くのみならず、運営の中核を担っていただきました。さらに、上野征洋先生には、「行政広報の現状と課題」のご報告のみならず、大変貴重な、まさに指定研究の総括といえるご執筆をいただくというご高配を賜りました。ここに心より感謝の意を表します。本当にありがとうございました。

最後に、日本広報学会に、この貴重な機会を得ましたことを深く感謝いたします。

日本広報学会研究会運営委員会委員

小林 麻理  
伊吹 勇亮  
宇佐 美稔  
柴 田 卓  
菅原 正博  
関谷 直也  
森下 幹也

2009年10月

# 目次

謝辞

はじめに

第1章 行政における情報公開と市民参加・協働を促進する基本要素

第2章 事例研究：「ハマジン」における協働の流れ

第3章 事例研究：米国地方政府における行政広報

第4章 シンポジウム「行政広報と市民広報」

第5章 総括：行政コミュニケーションの現状と課題

補遺：研究会資料及び収集資料

# はじめに

小林 麻理

日本広報学会 2008 年度指定研究として、「行政コミュニケーション事例研究」（主査：小林麻理）を実施した。

設置の趣旨は、行政において「公」の役割の変容に伴い、広報の重要性が一層強く認識されているにもかかわらず、従来型の広報活動に依存している現状であることに鑑み、行政広報の先進的な取組みや課題について事例を集積し、行政広報事例研究の分野を開拓して、行政広報の実務にインパクトを与えることにある。対象は、庁内広報のみならず、住民をはじめとする多様なステイクホルダーとの双方向コミュニケーション、災害又は不祥事等のリスク管理対応、温暖化防止等にみられる政策キャンペーン、IR 広報など多様化する行政コミュニケーション分野である。当該研究対象は、日本広報学会の新たな研究領域としても重要であり、社会的な貢献も期待され、成果報告が行われれば、行政に日本広報学会のプレゼンスを示す機会ともなりうることを意図して研究を進めた。

指定研究では、自治体のみならず省庁の広報、情報提供に関するグッドプラクティスを含め、広範に講演者を招聘し、ディスカッションを積み重ねる方法をとった。行政コミュニケーションについては、自由研究においても貴重な研究を鋭意積み重ねているところであるが、本研究では、事例研究の範囲を広範に設定し、行政広報の実務に関するナレッジの共有を促進するため、開かれた研究会として議論を促進することを意図した。研究会の実施は以下のとおりである。

第1回 2008年7月19日（土）14:00～17:30 於早稲田大学

報告者

上野 征洋 氏（静岡文化芸術大学）

「行政コミュニケーションの現状と課題」

濱田 逸郎 氏（江戸川大学）

「メディア変動とねじれ国会の中で・・・～政府広報の蹉跌～」

第2回 2008年9月13日（土）13:30～17:00 於早稲田大学

報告者

松林 博己 氏（総務省 行政評価局 政策評価官（元 総務省 広報室長））

「広報室長の経験からみた行政広報の役割と課題」

屋井 鉄雄 氏 (東京工業大学)

「道路交通計画におけるパブリックインボルブメントの現状」

第3回 3月28日(土) 13時より17時 於早稲田大学

シンポジウム「行政広報と市民協働」

基調講演 福嶋 浩彦氏 (前我孫子市長)

「行政における情報公開と市民参加・協働」

パネルディスカッション 「行政は協働型地域メディアをいかに創造できるか」

パネリスト

棚田 吉浩氏 (北広島市役所 情報推進課・広報担当)

ビアンキ アンソニー氏 (犬山市市議会 議員)

今井 淑子氏 (NPO 法人ウェブストーリー理事長)

時松 純子氏 (「ハマジン」副編集長)

ディスカッサント 福嶋 浩彦氏 (前我孫子市長)

コーディネーター 宮田 穰氏 (相模女子大学)

これらの研究会の成果を整理集約した。本報告書の構成は次のとおりである。

はじめに

第1章 行政における情報公開と市民参加・協働を促進する基本要素 (小林麻理)

第2章 事例研究：「ハマジン」における協働の流れ (時松純子/小林麻理)

第3章 事例研究：米国地方政府における行政広報 (小林麻理)

第4章 シンポジウム「行政広報と市民広報」 (小林麻理)

第5章 総括：行政コミュニケーションの現状と課題 (上野征洋)

補遺：研究会資料及び収集資料